

保健所における新生児訪問指導の状況調査

森 山 豊
内 藤 寿七郎
渡 辺 清 綱
生 田 恵 子
高 橋 禎 昌
兼 子 和 彦
村 岡 文 也
石 塚 祐 也
村 上 睦 子
桂 川 イ ヨ
加 藤 た け

1 目的

新生児の訪問指導は、最近、新生児管理改善促進連合が調査した、母親を対象とした調査と助産婦を対象とした調査、また、他の文献でも殆どが有効であるとしている。

しかし、改善すべき問題も多くあることが指摘されている。そこで、新生児訪問を扱っている保健所を対象に、その改善のために必要な資料を得るためのアンケート調査を行った。

2 対象及び調査方法

全国の保健所850カ所（県立保健所637、政令市及び特別区保健所213）にアンケート用紙を郵送で送付し、同方法で回収した。

3 実施時期

昭和63年10月から平成元年2月

4 結果

(1) アンケート調査回収状況

全国850の保健所にアンケートを送付し、461の回答を得た。その中16の無効回答を除き453の有効回答を得て、その有効回収率は53.29%であった。保健所別ではHCコード1（政令市保健所）が213の送付に対し94、44.13%、HCコード2（その他）が637の送付に対し359で56.36%であった。（表1）

(2) 新生児訪問指導の実施率に関する質問では、かなり良いと思っているが30.93%で不十分と思っているが69.07%であった。

しかし、HCコード1の保健所では、かなり良いと思っているが51.11%で不十分と思っているの48.89%より多かった。反対にその他でかなり良いと思っているが25.78%で、不十分と思っているが74.22%で良いと思っているは全体の約 $\frac{1}{4}$ にすぎな

かった。

H C コード 1 と H C コードに 2 は FISHER'S EXCT-TEST で、0,000 で明らかに有意差があった。(表 2)

(3) 訪問指導における実施上の問題点

殆どの保健所が回答を行っており、主な問題は、1. 助産婦の高齢化 65.93% (H C コード 1 68.82%、コード 2 65.32%)、2. 訪問指導員が少い 44.07% (H C コード 1 39.78%、コード 2 44.97%)、3. 訪問指導料が安い 34.07% (H C コード 1 50.54%、コード 2 30.65%) であった。総予算が少く、回数が制限されているは 12.96% (H C コード 1 8.60%、H C コード 2 13.87%) と、つづいて出生通知票の受理数が少いが 11.67% (H C コード 1、2 にあまり差はなかった) であった。

助産婦の高齢化、指導員が少い。指導料が少いが、大きな問題であることがわかった。(表 3、4)

(4) 出生通知票の受理数と訪問指導

受理数では、H C コード 1 で一保健所平均 110 (第一子 54、第二子以後 55)、H C コード 2 では、平均 46 (第一子 23、第二子以後 23) であった。無効が H C コード 1 では 30.9%、H C コード 2 では 42.1% と H C コード 2 の方が多かった。

保健所職員による訪問数は H C コード 1 は一保健所平均 H C コード 1 は平均 12 (第一子 9、第二子 3) H C コード 2 は 4 (第一子 3、第二子 1) であった。

訪問指導員による訪問は H C コード 1 は

平均 56 (第一子 36、第二子以後 21) H C コード 2 は平均 26 (第一子 16、第二子以後 11) であった。

訪問延数では、保健所職員によるもの一保健所平均 H C コード 1 は 13 (第一子 10、第二子以後 3) H C コード 2 は 4 (第一子 3、第二子以後 1) で、訪問指導員によるもの、一保健所平均 H C コード 1 は 64 (第一子 41、第二子以後 25)、H C コード 2 は 30 (第一子 17、第二子以後 12) であった。

H C コード 1 と 2 で訪問数は出生数に比例してあまり変りがないが、第二子以後の訪問もかなり行われている。

出生数は、H C コード 1 は一保健所平均 143 (第一子 64、第二子以後 78)、H C コード 2 は 113 (第一子 51、第二子以後 62) で、これを出生通知票の受理数と比較すると、H C コード 1 は 76.92% (第一子 87.10%、第二子以後 70.51%)、H C コード 2 は 40.71% (第一子 45.10%、第二子以後 37.10%) と H C コード 2 は著しく出生通知票の受理が少い。出生通知票受理数と訪問数の比は、H C コード 1 と 2 はあまり変わらないが、出生数との比はかなり相違があることがわかる。(表 5-1~4)

(5) 出生通知票を受理した期間

317 保健所 (H C コード 1 87、コード 2 230) が回答しているが、無効が H C コード 1 が 7 (7.45%) なのに H C コード 2 は 129 (35.93%) と多い。

受理した期間は、生後 0~13 日が 41.55%、生後 14~20 日が 23.26%、生後

21～27日が12.68%、28日以後が20.42%であり、HCコード1、2の間には特に差はなかった。生後14日以後が60%近くあるのは問題で今後改善への努力が必要である。

(表6)

- (6) 訪問依頼書を発送までに要した期間
出生票を受理してから指導員への発送までの期間は0～2日35%、3～6日33%、7～13日18%、14日以後14%で、HCコード1と2にあまり変りはないが、回答なし、無効がHCコード1は17.02%なのにHCコード2は49.58%と多く、発送までの期間もHCコード2が多いことが考えられる。いずれにしても、受理してから発送までに7日以上を要しているのが32%もあるのは問題である。(表7)

- (7) 返還数の依頼数に対する割合
訪問指導員に依頼したものが訪問されずに返ってきた割合は0%の保健所が49.81%で約半分あるが、10%以上が25.26%ある。この中に里帰り分娩によるものが相当数含まれていると思われるが検討が必要である。

HCコード2には無効の回答が42.83%もあった。(表8)

- (8) 訪問指導対象については、第一子のすべて及び第二子以後で必要と思われるものが68.46%(HCコード1 70.33%、コード2 67.95%)で3分の2以上あり、次いで第一子及び第二子以後のすべてで、18.69%(HCコード1 17.58%、コード2 18.99%)で、全部を対象と望んでいるものもかなり

あった。(表9)

- (9) 第一子のすべて及び第二子以後で必要と思われるものを書いたものに必要の条件を聞いたが、HCコード1及び2であまり大きな差はない。必要な条件としては
- 1 今回の妊娠中の異常及び分娩異常 82.59%
 - 2 新生児の状態に問題があって訪問が必要と思われるもの66.89%
 - 3 母親からの依頼45.05%
 - 4 前回の妊娠及び分娩異常30.03%
 - 5 前回の児の異常26.96%であった。

(表10)

- (10) 現在第二子以後を訪問していない場合、訪問しない旨を保護者に通知していますか
に対して

- ① しているが11.07%(HCコード1 18.97%、HCコード2 29.01%)
 - ② いないが82.86%(HCコード1 74.14%、HCコード2 85.14%)
- であり、HCコード1の方が連絡しているが多かった。(表11)

- (11) 保護者に里帰り分娩の際里帰り先の保健所に連絡するようにしているかに対して

- ① している39.20%(HCコード1 44.94%、コード2 37.69%)
- ② 必要な場合している27.93%(HCコード1 30.34%、コード2 27.30%)
- ③ していないが29.81%(HCコード1 20.22%、コード2 32.34%)であった。

① している、②必要な場合しているを合計して、していないについてHC

コード1とHCコード2を比較すると、HC1 SCUAR=5.15で、1=0.0239以下で、3%以下の危険率で差があった。

(表12)

(12) 連絡をしている場所は母親学級が最も多く85.03%であった。(表13)

(13) 管外への里帰り分娩と判明した場合里帰り先の保健所へ連絡しているかでは

① しているが16.44% (HCコード1 18.48%、コード2 15.88%)

② 必要と思われる場合、している38.43 (HCコード1 34.78%、コード2 39.41%)

③ していない40.97% (HCコード1 38.04%、コード2 41.76%)

で、積極的にすべてにはしておらず、していないが約40%であった。(表14)

(14) 里帰り分娩の際、居住保健所から連絡があったら訪問するかに対しては殆どがすと答えている。88.51% (HCコード1 90.11%、コード2 88.08%) HCコード1、2であまり差がなかった。(表15)

5 総括

全国850の保健所にアンケート用紙をおくり453の有効回答を得た。有効回答率は53.3%であった。

新生児訪問指導の訪問指導の実施率に関する質問にかなり良いと思っているのは30.9%で不十分と思っているの69.1%の半分以下であった。

しかし、政令市等保健所だけでは51.1%がかなり良いと思っていると答え、不十分と思っ

ているの48.9%を僅かであったが上廻った。

訪問指導における実施上の問題は、1助産婦の高齢化65.9%、2訪問指導員が少い44.1%、3訪問指導料が安い34.1%が、最も大きい問題である。

出生通知票の受理数と訪問延数とを比較すると政令市等保健所70.0%に対し、その他73.9%ではほぼ等しいが出生数に対すると53.8%と30.1%とかなり差がある。

第二子以後について、第一子に対し政令市等保健所では35.7%であるが、その他では54.3%とかなりの訪問を行っている。

出生通知票を受理した期間は生後0～13日は41.6%で、14日以後が58.4%で28日以後は26.4%あった。受理日数を早める対策が必要である。

保健所で訪問依頼書を指導員に発送するまでに要した期間は7日以上を要しているのが全体の32%もあり改善が必要であろう。

訪問指導対象は第一子のすべて及び第二子以後で必要と思われるものが最も多く68.5%で、第一子及び第二子以後のすべてというものも18.7%あった。

保護者に対し里帰り分娩の際、里帰り先の保健所に連絡をするよう指導しているのは39.2%、していないは29.8%であったが、政令市等保健所の方がしている割合が多かった。管外への里帰り分娩が判明したとき、該当保健所への連絡は16.4%にすぎなかった。

里帰り分娩の際、居住保健所から連絡があった場合は殆どの保健所が訪問を行っている。

表1 アンケート調査回収状況

	発 送 数	回 答 数	無 効 数	有効回答数	有効回答率
保健所コード 1	213	95	1	94	44.13
保健所コード 2	637	374	15	359	56.36
計	850	461	16	453	53.29

保健所コード1 = 政令市等保健所 保健所コード2 = その他 以下同じ

表2 新生児訪問指導実施率に関する質問の回答

	かなり良いと思っている	不十分と思っている	計
保健所コード 1	46	44	90
P C T	51.11	48.89	100.00
保健所コード 2	91	262	353
P C T	25.78	74.22	100.00
計	137	306	443
P C T	30.93	69.07	100.00

無効数10 P C T = パーセント, 以下同じ

STATISTIC	DF	VALUE	PROB
CHI-SQUAR	1	21.544	
FISHER'S EXCT TEST (1-TAIL)			0.000
(2-TAIL)			0.000

表3 訪問指導における実施上の問題点回答率

	問 題 な し	問 題 あ り	計
保健所コード 1	1	93	94
P C T	1.06	98.94	100.00
保健所コード 2	5	354	359
P C T	1.39	98.61	100.00
計	6	447	453

STATISTIC	DF	VALUE	PROB
CHI-SQUARE	1	0.062	0.804
FISHER'S EXACT TEST (1-TAIL)			0.637
			1,000

表 4 訪問指導実施上の問題点

保健所コード	1	P C T	2	P C T	計	P C T
訪問指導員が少ない	37	39.78	201	44.97	238	44.07
助産婦の高齢化	64	68.82	292	65.32	356	65.93
総予算が少く回数の制限	8	8.60	62	13.87	70	12.96
訪問指導料が安い	47	50.54	137	30.65	184	34.07
出生通知票の受理数が少ない	16	17.20	68	15.21	84	15.56
その他	21	22.81	43	9.62	63	11.67
総 数	93	100.00	447	100.00	540	100.00

表 5-1 出生通知表受理数及び出生数総数

保健所コード	出生通知票受理数					出生総数					
		有効回答数	無効回答数	保健所平均数	標準偏差	総数	有効回答数	無効回答数	保健所平均数	標準偏差	総数
1	総 数	65	29	110	75	7,128	43	51	143	90	6,129
	第一子			54	38	3,526			64	38	2,759
	第二子以後			55	38	3,602			78	55	3,370
2	総 数	208	151	46	51	9,595	190	169	113	156	21,479
	第一子			23	38	4,729			51	132	9,730
	第二子以後			23	38	4,866			62	61	11,769

表 5-2 保健所職員による訪問数及び訪問指導員による訪問数

保健所コード	保健所職員					訪問指導員					
		有効回答数	無効回答数	保健所平均数	標準偏差	総数	有効回答数	無効回答数	保健所平均数	標準偏差	総数
1	総 数	58	36	12	11	715	70	24	56	49	3,934
	第一子			9	10	517			36	33	2,492
	第二子以後			3	3	332			21	26	1,459
2	総 数	247	112	4	6	1,013	247	142	26	46	6,502
	第一子			3	4	681			16	41	3,878
	第二子以後			1	3	332			11	15	3,624

表 5-3 保健所職員による訪問延数及び訪問指導員による訪問延数

HC コード		有効	無効	一保健所 平均数	標準 偏差	総 数	有効	無効	一保健所 平均数	標準 偏差	総 数
		回答数	回答数				回答数	回答数			
1	総 数	56	38	13	11	739	66	28	64	65	4,216
	第 一 子			10	10	533			41	40	2,707
	第二子以後			4	4	206			25	35	1,650
2	総 数	246	113	4	7	1,082	245	114	30	37	7,301
	第 一 子			3	4	727			17	22	4,251
	第二子以後			1	3	355			12	20	3,050

表 5-4 訪問数及び訪問延数の届出数及び出生数に対する比

HC コード		届 出 数	出 生 数	訪 問 数	対届出数	対出生数	訪問延数	対届出数	対出生数
		1	総 数	110	143	68	61.2	47.6	77
	第 一 子	54	64	45	83.3	70.3	51	94.4	84.4
	第二子以後	55	78	24	43.6	30.8	29	52.7	30.8
2	総 数	46	113	30	65.2	26.6	34	73.9	30.1
	第 一 子	23	51	19	82.6	37.3	20	86.9	39.2
	第二子以後	23	61	12	52.2	19.6	13	56.5	21.3

表 6 出生通知票を受理した期間

HC コード		有効 回答数	無効 回答数	一保健所 平均数	内 訳				標準 偏差	総 数
					生 後 0~13日	生 後 14~20日	生 後 21~27日	生 後 28日以後		
1	総 数	87	7	99	41	26	13	19	67	8,621
	PCT				41.41	26.26	13.13	19.19		
2	総 数	230	129	43	18	10	5	10	54	9,856
	PCT				41.86	23.26	11.63	23.26		
計	計			142	59	36	18	29		
	PCT				41.55	25.35	12.68	20.42		

表7 訪問依頼書を発送までに要した期間

HC コード		有効 回答数	無効 回答数	一保健所 平均数	内 訳				標準 偏差	総 数
					0～2日	3～6日	7～13日	14日以後		
1	総 数	78	16	68	20	24	14	10	58	5,300
	PCT				29.41	35.29	20.59	14.71		
2	総 数	181	178	32	15	9	4	4		
	PCT				46.88	28.13	12.50	12.50		
計	計			100	35	33	18	14		
	PCT				35.00	33.00	18.00	14.00		

7～10は省く。

表8 返還数の依頼数に対する割合

	(1) 0%	(2) < 5%	(3) < 10%	(4) < 15%	(5) = > 15%	計	無効数
保健所コード 1	24	14	22	3	12	75	19
PCT	32.00	18.69	29.33	4.00	16.00	100.00	
保健所コード 2	105	9	17	15	38	184	175
PCT	57.07	4.89	9.24	8.15	20.65	100.00	
計	129	24	39	18	50	259	194
PCT	49.81	9.27	15.06	6.95	19.31	100.00	

表9 訪問指導対象

	(1) 第一子のみで よい	(2) 第一子及び第 二子以後のすべ て	(3) 第一子のすべ て及び第二子以 後で必要と思わ れるもの	(4) その他	計	無効数
保健所コード 1	5	16	64	8	91	3
PCT	5.49	17.58	70.33	8.79	100.00	
保健所コード 2	22	64	229	22	337	22
PCT	6.53	18.99	67.95	6.53	100.00	
計	27	80	293	30	428	25
PCT	6.31	18.69	68.46	7.01	100.00	

表10 必要と思われる条件

保健所コード	1	PCT	2	PCT	計	PCT
(1) 前回の妊娠及び分娩異常	16	25.00	72	31.44	88	30.03
(2) 前回の出生児の異常	17	26.56	62	27.07	79	26.96
(3) 今回の妊娠中の異常及び分娩異常	55	85.94	187	81.66	242	82.59
(4) 新生児の状態に問題があって訪問が必要と思われる場合	49	76.56	147	64.19	196	66.89
(5) 母親からの依頼	31	48.44	101	44.10	132	45.05
(6) その他	2	3.13	0	0	2	0.68
総数	64	100.00	229	100.00	293	100.00

表11 現在、第二子以後を訪問していない場合又は一部のものを訪問している場合
訪問しない旨を保護者に通知しているか

保健所コード	1	PCT	2	PCT	計	PCT
1) している	11	18.97	20	9.01	31	11.07
2) いない	43	74.14	189	85.14	232	82.86
3) その他	4	6.90	13	5.86	17	6.07
計	58	100.00	222	100.00	280	100.00
不明	20		73		93	

表12 保護者に対して里帰り分娩の際、里帰り先の保健所に連絡するように
指導しているか

保健所コード	1	PCT	2	PCT	計	PCT
1) している	40	44.94	127	37.69	167	39.20
2) 必要な場合している	27	30.34	92	27.30	119	27.93
3) していない	18	8.99	109	32.34	127	29.81
4) その他	4	4.49	9	2.67	13	3.05
計	89	100.00	337	100.00	426	100.00
不明	5		22		27	

している、必要な場合している、していないのHCコード別比較 CHI・SQUAR=5.15 P=0.0239以下

表13 している場合の連絡をどこでしているか

保健所コード	1	PCT	2	PCT	計	PCT
(1) 母親学級	36	90.00	106	83.46	142	85.03
(2) 訪問指導の際	0	0	15	11.81	15	2.99
(3) その他	4	10.00	5	3.94	9	5.39
計	40	100.00	127	100.00	167	100.00
不明	0		1		1	

表14 管外への里帰り分娩と判明した場合里帰り先の保健所に
連絡しているか

保健所コード	1	PCT	2	PCT	計	PCT
(1) している	17	18.48	54	15.88	71	16.44
(2) 必要な場合のみしている	32	34.78	134	39.41	166	38.43
(3) していない	35	38.04	142	41.76	177	40.97
(4) その他	8	8.70	10	2.94	18	4.17
計	92	100.00	340	100.00	432	100.00
不明	2		19		21	

表15 里帰り分娩の際、居住保健所から連絡があったら訪問するか

保健所コード	1	PCT	2	PCT	計	PCT
(1) する	82	96.11	303	88.08	385	88.51
(2) しない	4	4.40	10	2.91	14	3.22
(3) その他	5	5.49	31	2.62	36	8.28
計	91	100.00	344	100.00	435	100.00
不明	3		15		18	



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



1 目的

新生児の訪問指導は、最近、新生児管理改善促進連合が調査した、母親を対象とした調査と助産婦を対象とした調査、また、他の文献でも殆どが有効であるとしている。

しかし、改善すべき問題も多くあることが指摘されている。そこで、新生児訪問を扱っている保健所を対象に、その改善のために必要な資料を得るためのアンケート調査を行った。